

パフォーマンス課題「持続的課題深化力」の評価基準表

課題設定能力評価規準	5 素晴らしい	4 よい	3 合格	2 もう一歩	1 かなりの改善が必要
1 情意面 (主体的に学習に取り組む態度・社会的責任と倫理)	自らが社会の一員として、社会的責任感や貢献しようとする態度を持ち、自らの価値観や立場の理解した上で、将来への展望が示されている	自らの興味関心・知識技術、社会や研究分野の要望を理解し、貢献しようとする態度や将来の展望が示されている	自らの興味関心・知識技術、さらに社会や研究分野の要望を理解し、結びつけている	自らの興味関心・知識技術の理解とそれに基づいた研究へのアプローチがある	研究を実施した達成感がある

評価規準	5 素晴らしい	4 よい	3 合格	2 もう一歩	1 かなりの改善が必要
2 地域資源型探究への取り組む姿勢 (地域認識・情報収集)	地域の人々の対話の中で地域の(身近な)様々な情報を正確に収集し、持続可能な社会をつくるまでの問題の背景を多面的な視点でとらえ、自分ごととして課題を捉えた具体的な記述がある。	地域の人々の対話の中で地域の(身近な)様々な情報を正確に収集し、持続可能な社会の構築へ向けての問題の背景を多面的な視点にとらえた記述がある。	地域の(身近な)様々な情報を収集し、持続可能な社会の構築へ向けての問題の背景についての記述がある。	地域の(身近な)情報の記述が少なく、偏っている。持続可能な開発発展に関する内容も少ない。	地域の(身近な)情報の記述がない。持続可能な開発発展に関する内容が示されていない。
3 課題の設定と調査計画	繰り返し、かつ、論理的な視点から自身の探究活動を振り返り、省察することで、問題解決のサイクルを用いて、新たに社会や学問に働きかける問いを生み出し、取り組みをしている	他者の意見を参考にしながら一連の問題解決のサイクルから、自身の探究活動を振り返ることで、前回の評価を実施し、次の仮説や問いを生み出している。	仮説を立てて、方法を立て取り組み、発表活動を通じて他者の意見を聞き、問題解決のサイクルを学び、答えのない問いについて追及することへ価値を認識している	先行研究や情報を集め、比較、問題の構造の分析・分類を実施した	自身の探究活動を方法論ののっとなって実施した
4 仮説を検証する力 (調査計画・結果の考察)	研究対象の事象を構成する条件や象徴する項目が数値化され、数値の比較で統計処理がなされ、統計的な評価がされている。	研究対象の事象を構成する条件や象徴する項目が数値化され、数値の比較で統計処理がなされている。	研究対象の事象を構成する条件や象徴する項目が数値化され、数値の比較がなされている。	研究対象の事象を構成する条件や象徴する項目が数値化されている(定量化)。	研究対象の事象を構成する条件や象徴する項目が定義されている(定性化)。
5 協働のスキル	開かれた対話の場をつくることへリーダーシップやマネジメントをはかり、セーフティのある多様で、主体的な集団の形成を図ろうとしたことが示されている	研究を進めるために、他者の意見を共感・理解し、自らの考えを揺さぶり、創造的な合意形成を行おうとしたことが示されている	セーフティな場をつくり、粘り強く他者の意見に傾聴し、自らの意見を論理的に伝え、合意形成のための対話に積極的に参加したことが示されている	他者の意見に傾聴し、知識を構築しようとしている	学びあいや情報共有をしている